

# Annual Report 2011

TABLE FOR TWO International

- 
- Ethiopia
  - Uganda
  - Rwanda
  - Kenya
  - Tanzania
  - South Africa



# CONTENTS

<b>1</b>	<b>From TABLE FOR TWO</b>	..... 2
<b>2</b>	<b>Highlight from 2011</b>	..... 4
<b>3</b>	<b>TABLE FOR TWO Program - Solving Obesity -</b>	..... 9
<b>4</b>	<b>TABLE FOR TWO Program around the world</b>	..... 19
<b>5</b>	<b>School Feeding Program - Solving Hunger -</b>	..... 24
<b>6</b>	<b>TABLE FOR TWO 团体概要</b>	..... 33

# 1 From TABLE FOR TWO

世界人口約70億人のうち、10億人が飢餓・貧困に苛まれている一方で、10億人が飽食社会の中で肥満・生活習慣病に苦しんでいます。これは、世界の食料配分の不均衡によって生じた問題です。開発途上国では食料が不足し、先進国では食事が過剰で命が失われる対照的な世界の実態が存在します。TABLE FOR TWO(以下、TFT)は、食の不均衡を解消し、開発途上国と先進国双方の人々の健康を同時に改善することを目指す日本発の社会事業です。

先進国にいらっしゃる参加者の皆様には、肥満や生活習慣病予防のために食事のカロリーを抑えていただき、抑えたカロリー分を栄養豊富な給食にして開発途上国の子どもたちに届けます。先進国の参加者と、地球の裏側にいる開発途上国の子どもたちが、時間と空間を超え食卓を囲み、食事を分かち合うイメージから「二人の食卓」を意味する「TABLE FOR TWO」という名をつけました。

TFTの仕組みを国内外に広げることで、世界の飢餓・栄養失調と肥満・生活習慣病の解消に貢献します。同時に、人々がTFTのメニューや商品を選択することで、世界の食の不均衡改善と共存を実感し、地球市民としての自覚を促す意識改革を目指します。さらには、日本から世界に広がる社会事業を成功させることで、日本の市民社会のさらなる発展の触媒となることを目指します。



2011年は3月11日に発生した東日本大震災により、多くの方が被災され、日本全体が大きな打撃を受けました。これまで私たちは、アフリカを中心とした開発途上国へ支援を届けることを主な活動としてまいりましたが、この国難に際しては、社会のために存在するNPOとして被災した方々のお役に少しでも立つべく、仮設住宅に移住された方々への食料支援を行いました。この緊急の決断は、参加企業、団体の皆様のご理解とご協力なしには実現し得なかったもので、この場を借りて心より御礼申し上げます。

また被災地以外でも、影響はありました。震災後の節電により社員食堂の一時閉鎖を余儀なくされ、TFTの活動も休止されていた企業もありましたが、その後、再び活動を再開して下さったことは、本当に嬉しいことでした。そんな中、支援先のある小学校の生徒たちからは、日本でTFTに参加する皆様に向けて激励のメッセージが届きました。これには涙が出るほど嬉しく、感動いたしました。同時に、初めて支援を受ける立場になり、海外で支援をして下さる方々がいるというのを実感することが、いかに勇気づけられることかと身をもって経験いたしました。

このように、遠くに暮らす同士でも国境を越え、必要な時にはお互いを助け合う真の協力関係をTFTを通じて築いていければと願っています。引き続き皆様のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

TABLE FOR TWO International 代表 小暮真久



2011年は、TFT USAにとって基盤を築く一年となりました。この一年のおかげで、今後世界各国で展開をしていくための基礎ができつつあると、実感しています。

日本とは異なり、社会的責任を個人が持つ習慣が広がっているアメリカでは、TFTと他のNPOとの違いをどのように示すかが課題でした。TFTが差別化をうまくできた要因に、ただの募金ではなく、自分にも気を配りながら社会への貢献ができる、寄付ではなく、資金の流れに基づいた持続可能な仕組み、NPOが盛んなアメリカにおいてアジアから始まった取り組みというユニークさ、誰もが毎日欠かすことのできない「食」という観点を通じた参加方法、という点が考えられます。募金文化が定着しているアメリカだからこそ、このような人々の生活に密着した、寄付者にもメリットがある仕組みが広く受け入れられたのだと、考えています。

昨年のアメリカでの広がりを通し、今後の世界での可能性を強く感じています。その可能性を現実にするためには長い道のりが待ち構えていると同時に、新たな挑戦を多くの仲間たちと迎えることに、とてもワクワクしています。世界中の多彩な人々とコラボレーションしながらよりよい社会を目指し活動していくことは、私がTFTに携わり始めた大きな理由の一つでもあります。

これからの数年、多くの課題が私たちを待ち受けていることでしょう。しかしそれらに立ち向かう事で、必ず社会にインパクトをもたらすことができると信じています。これから、より多くの仲間たちとともに、社会に良い変化を起こしていくことは私にとって何事にも代え難い楽しみであります。

TABLE FOR TWO USA 代表 Daniel Goldstein



# 2 Highlight from 2011

1200万食をアフリカの子どもたちへ

Unhealthy→→→Healthy

TABLE FOR TWO @Home

世界への広がり

Asian Social Entrepreneurs of the Year 2011

東日本大震災支援

Listen to Africa

Ethiopia: より栄養に配慮を

Tanzania: 待望の学校給食スタート

Rwanda: 持続可能なエネルギー



## 1200万食 をアフリカの子どもたちへ

TFTでは東アフリカに暮らす子どもたちの学校給食を提供しています。2007年の設立から4年間で、1,257万8,612食の学校給食を提供できるだけの寄付をお寄せいただきました(2012年1月6日現在)。これは約5万7,000人の子どもたちの、1年分の給食と同じ数になります。

皆様のご協力のおかげで、ウガンダ、エチオピア、ケニア、タンザニア、マラウイ、南アフリカ、ルワンダに暮らす子どもたちが、満足な昼食をとり勉強に集中して取り組める環境が広がっています。給食が学校に通い続けるモチベーションとなり、小学校の卒業試験の合格率が高くなるといった成果もあらわれています。一食から始まった給食が、学校へ通うきっかけをもたらし、さらには子どもたちがより充実した生活を送るための環境づくりがはじまっています。

Unhealthy  
→→→ Healthy



日本全国で462もの企業・団体の食堂やレストランでTFTプログラムが導入されています。ヘルシーメニューを提供する社員食堂に注目が集まるのに伴い、TFTプログラムへの関心も高まっています。

あまりヘルシーなイメージのないメニューでもTFTプログラムに参加できるようになりました。ドミノ・ピザでは、同社従来比で塩分・カロリー約40%オフの「ボナ・ペティート」シリーズに20円の寄付をつけていただきました。高カロリーの代名詞のようなピザでも、ヘルシーにおいしくTFTに参加できるようになりました(2011年3月～6月)。またコンビニエンスストアでも、ヘルシー志向のおにぎりやサンドイッチなどを通じたTFTプログラムが定着してきています。

## TABLE FOR TWO @Home



TFTプログラムに参加できる「場」の多様性が増しています。レシピ本「世界をつなぐあこがれ企業の社員食堂レシピ」を通して献立を考え、ハンディ・フードプロセッサー・Bamixで調理し、作った料理を楽天レシピで共有し、iPhoneアプリで日々の食事を記録することで、家庭での料理を通じたTFTへの参加が可能になりました。

Hello  
Hoy 안녕하세요  
Hallo Ciao  
こんにちわ

## 世界への広がり

2011年、TFTは日本を離れ、これまで実施されていたアメリカ、イギリス、スイス、台湾に加え、香港、韓国、フィリピン、ノルウェー、イタリアでもTFTプログラムが広がりを見せています。

アメリカでも、2010年末には10団体だった参加企業が、2011年には24団体へと実施箇所が増え始めています。中でも、Columbia University、University of San Franciscoなど全米各地の大学を拠点とした、学生中心の活発な活動が広がっています。現在、ニューヨーク、サンフランシスコ、ワシントンD.C.、ロサンゼルスなど全米7都市でプログラムが実施されています。

アジアでは、2010年にTFT代表小暮の著書「20円で世界をつなぐ仕事」の韓国語訳版が発売されたのを受け、社員食堂でのプログラム導入に向け、準備が進んでいます。香港では、11月にTFT香港が設立され、サポーターや著名人を招いたキックオフ・イベントが開催されました。発足から数ヶ月で28ヶ所以上のレストランやカフェでTFTプログラムが導入されています。フィリピンでも、10月16日世界食料デーにアジア開発銀行内食堂にて、TFTメニューが提供されました。

一方ヨーロッパでは、イギリス、スイスに加え、ノルウェーでもTFTプログラムが始まりました。オスロ郊外のAkershus University HospitalでTFTメニューが提供されています。またイタリアでも、TFTローマが設立され、企業やレストランでの導入に向け、活動が広がりつつあります。

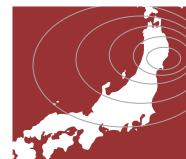


## Asian Social Entrepreneurs of the Year 2011

2011年9月シュワブ財団による「Asian Social Entrepreneurs of the Year 2011」にTFT代表の小暮真久が選出されました。

シュワブ財団は、第一線で活躍する社会のイノベーターたちに対してプラットフォームを提供するために1998年スイスにて設立された財団です。その年を代表する社会起業家を選出しており、2011年はTFTの他、ヘルスケアや水資源、生活必需品へのアクセスが限られている人々の環境改善を目標とした起業家たちが受賞しています。





## 東日本大震災支援

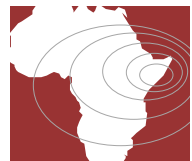
TFTでは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を受け、NPO法人セカンドハーベスト・ジャパンとの協働で、TABLE FOR TWO + Tohokuプログラムを開始しました。本プログラムへご参加のご希望があった社員食堂や店舗でTFTヘルシーメニュー・商品をご提供いただき、ご寄付のうち半額を従来通りアフリカの学校給食に、半額を東北地方の食事支援にあてるプログラムです。

岩手県、宮城県、福島県の仮設住宅で生活されているご家庭や、在宅避難などで日ごろのお買い物に不便を抱えていらっしゃる世帯を中心に、食料品パッケージを届けました。米やシリアル、缶詰など、日持ちするものを中心に、1回あたり2週間～1か月分の食料を届けています。またお料理教室や食事会を開催して、コミュニティの活性化を図る取り組みも始まっています。

 TABLE FOR TWO

 SECOND HARVEST

福島県新地町



## Listen to Africa

 **J-WAVE** 81-3FM

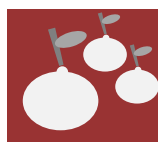
近年深刻化しているアフリカ北東部「アフリカの角」地域(ソマリア・エチオピアなど)での干ばつが、2011年はより事態が悪化し、現在でも深刻な食糧危機が発生しています。「アフリカの角」地域では1300万人を超える人々が飢餓に苦しみ、今この瞬間にも多くの命が危機に晒されています。

2011年10月16日世界食料デーに際し、FMラジオJ-WAVEにて“Listen to Africa”と題した特別番組を放送しました。ラジオパーソナリティ丹羽順子さんとTFT代表小暮のナビゲートのもと、なぜアフリカでこれほど深刻な食料危機が起きてしまっているのか、遠く離れた日本に暮らす私たちに何ができるのか、リスナーの方々それぞれの想いや考えを共有しました。



エチオピア・ハウゼン州コロロ村の小学校





## - Ethiopia - より栄養に配慮を

2010年9月から給食を提供しているエチオピア・ティグライ州コロロ村は、エチオピア北部に位置し、近年深刻化している東アフリカの干ばつの影響を受けている地域でもあります。この地域では、もともと雨水のみに頼る天水農法が行われており、灌漑の整備はまだ部分的です。そのような状況の中、気候変動は地元の農業に大きな影響をもたらします。

TFTが支援する小学校に通う子どもたちの家庭のほとんどが農業に従事しています。収穫量はその年の気候によって影響を受けるため不安定になり、十分な食べ物を確保できないこともしばしばあります。

TFTでは、そのような環境下で暮らす子どもたちへ、より栄養価に富んだ給食を届けるため、2011年6月から通常の給食に加えオレンジも提供するプログラムを開始しました。他の支援地域では主食とスープが提供されていますが、エチオピアでは、トウモロコシや大豆からできた主食のみが給食として提供されていました。そこにオレンジを追加することで、ビタミンCなどこれまでの給食では摂取できていなかった栄養もカバーできるようになっています。



## - Tanzania - 待望の学校給食スタート

タンザニア西部に位置するタボラ州ムボラ村でも、2011年9月からTFTによる学校給食プログラムが始まりました。この地域では、TFTが支援している基本的な食材に加え、キャベツやトマト、さらにはビクトリア湖でとれた小魚を、コミュニティや両親が自発的に給食用の食材として提供しています。給食プログラムを長期的に行っていくための基盤づくりが、学校と地域、そして親たちが一体となって進められています。

## - Rwanda - 持続可能なエネルギー



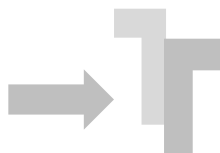
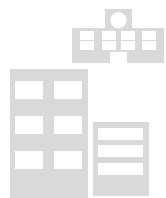
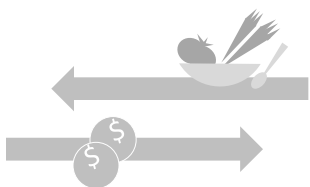
ルワンダでのTFT支援地域の一つであるバンダ村では、給食を調理する際の燃料についても工夫を凝らしています。この村は国立森林公園内にあるのですが、調理用の燃料のための森林伐採が深刻な環境破壊をもたらしています。そこでTFTでは、廃棄されている段ボールや木くずなどから作られる、ブリケットと呼ばれるリサイクル固形燃料の製造のサポートも開始しました。バンダ村では2011年夏からブリケットの製造が始まり、地元住民の雇用を生み出すと同時に、近い将来には給食調理時の全ての燃料をブリケットに転換することを目標としています。

# 3 TABLE FOR TWO Program

## - Solving Obesity -

欠くことのできない毎日の食事。そんな日常生活のなかの少しの変化が、地球の裏側で大きな変化を起こします。

2007年にスタートしたTABLE FOR TWOは、2011年に4年目を迎えました。社員食堂で、学食で、レストランで、そして家庭で、様々な場面で、より多くの人々が、健康について少しだけ気を配り、そしてアフリカに暮らす子どもたちに笑顔をもたらしています。



# T ABLE FOR TWO プログラム

2011年10月31日、世界の人口は70億人に達しました。

人口増加に伴い、私たちは様々な課題に直面しています。都市部に暮らす人口の急増。急速な産業化がもたらす環境破壊。そして食料問題も、最も深刻な課題の一つとして捉えられています。世界の人口が増え続けるなか、食べ物がきちんといきわたる仕組みを、どのように作り出すのか。

農業生産性の向上。新種の農作物の開発。食料廃棄の削減。この人類最大の課題の解決に向けて、多くの人が知恵を絞り、様々なアプローチで挑んでいます。



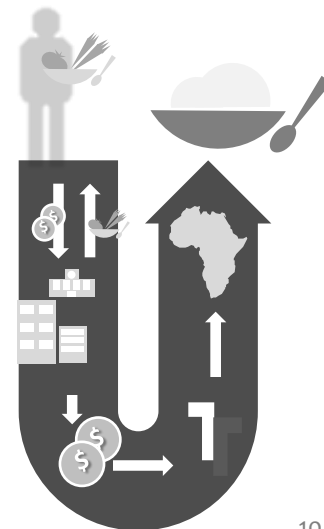
2007年に設立されたTABLE FOR TWO (以下TFT)は、世界の食の不均衡を解消し、開発途上国と先進国双方の人々の健康を、同時に改善することを目指す日本発の社会事業です。

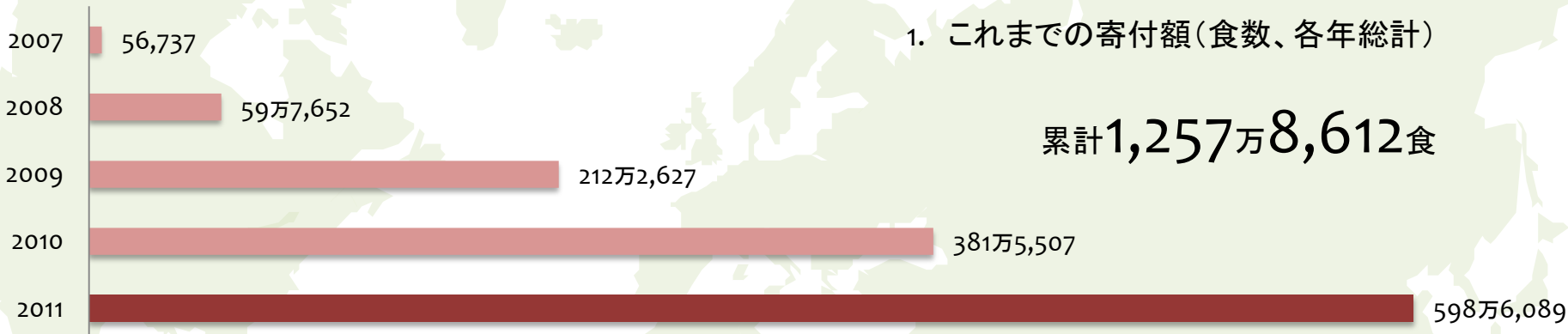
TFTは、世界70億人のうち、10億人が飢餓・栄養不良に苦しみ、10億人が飽食社会の中で肥満・生活習慣病に悩んでいるという、皮肉にもほぼ同数の人々が真逆の問題に苦しんでいる現状に着目しました。

この状況を改善させ、食の不均衡に関する啓発につなげるために、TFTでは先進国と開発途上国をつなげるプログラムを推進しています。先進国で健康に配慮したTFTメニューを食べると、そのメニューに付加された20円が寄付金としてTFTを通してアフリカの地で、栄養豊富な温かい給食に生まれ変わります。

TFTでは、この仕組みを国内外に広げることで、世界の飢餓・栄養失調と肥満・生活習慣病の解消に取り組んでいます。同時に、TFTメニューや商品を選択することで、世界の食の不均衡について考える機会が生まれ、地球市民としての自覚が生まれる意識改革を目指します。

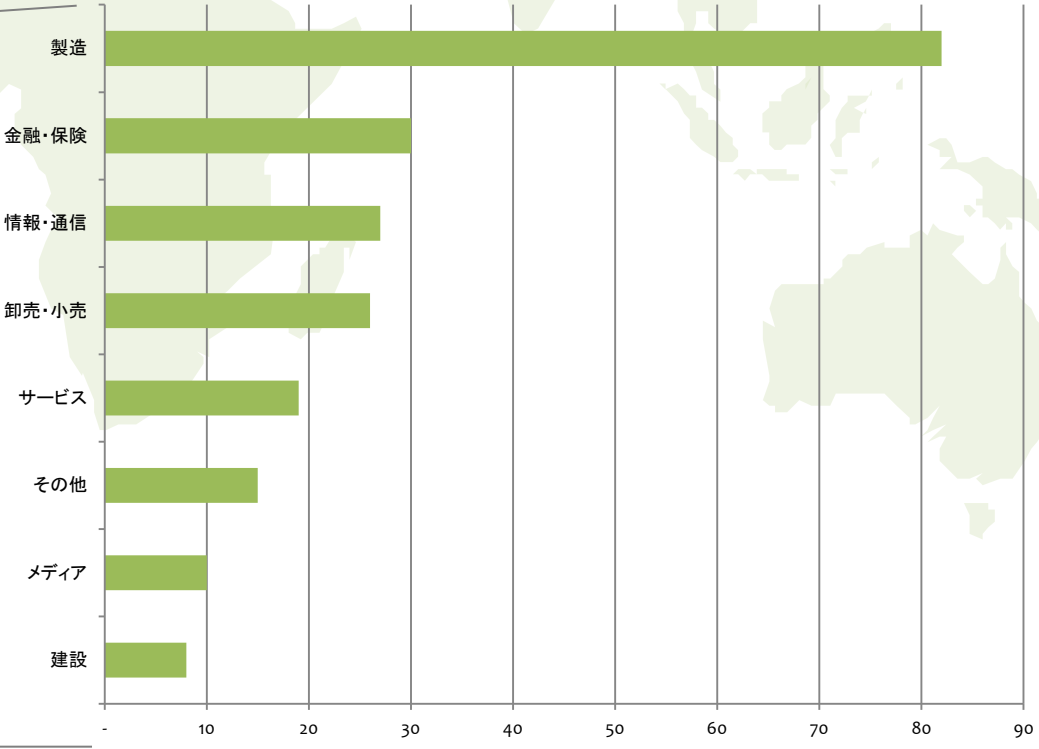
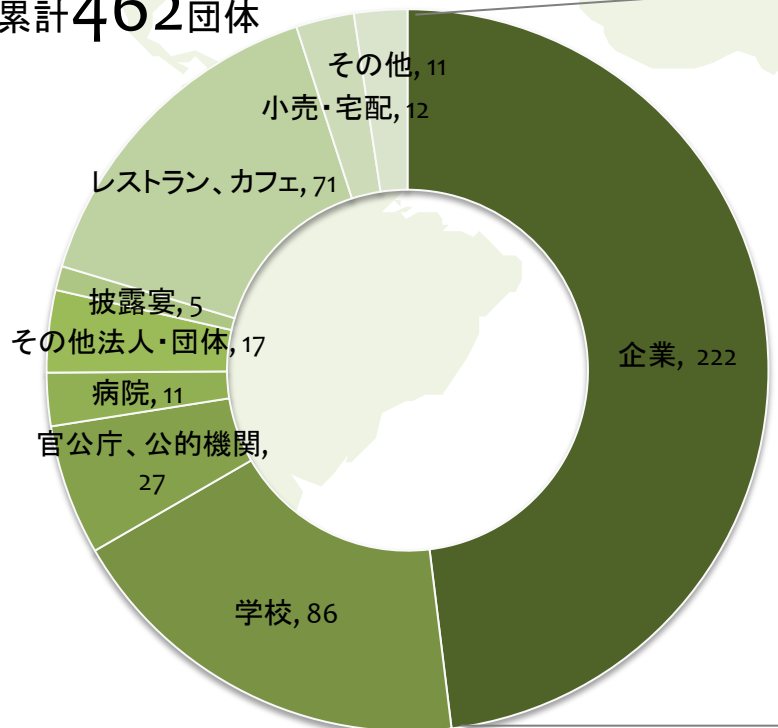
さらには、日本から世界に広がる社会事業に成長させることで、日本の市民社会の発展の触媒となることを目指します。





2. 分野別参加団体(団体数)

累計462団体



TFTプログラムを実施していただいている団体では、以下のガイドラインに基づいたTFTヘルシーメニューが提供されています。

1. 一食当たりのカロリーが通常よりやや低く抑えられている\*  
デスクワークが主となる職場の食堂：730kcal程度(680-800kcal)  
工場や軽作業を伴う職場の食堂：800kcal程度(720-870kcal)
2. 栄養のバランスが取れている
3. 野菜を多く含む

\*厚生労働省の定める「日本人の食事摂取基準(2010年度)」を参照。  
一日の運動量により幅があります。

**食堂** 企業や官公庁、学校などの食堂にて、TFTメニューを提供いただいています。各団体に所属する方々、またそこで食堂を運営する方々との協働により、2011年には462団体にてTFTを実施するに至りました。

**レストラン** レストランやカフェでのTFTプログラム導入で、より多くの方がTFTプログラムに参加できるようになりました。2011年はレストランに加え、ショッピングモール内の複数のレストランでも同時にTFTプログラムが導入されました。

**コンビニ・通信販売** コンビニエンスストアやインターネット通販にて寄付付きのヘルシー商品を販売いただき、TFTプログラムに参加できる場が大きく広がっています。コンビニでお買い物するだけで、またネット通販で食材を購入することでも、自身の健康に配慮しながらTFTプログラムに参加できるようになりました。

**自動販売機** 食堂はないけれどTFTプログラムに参加したい、という嬉しい相談をいただくことが増える中、自動販売機版TFTプログラム“CUP FOR TWO”の取り組みも広がってきています。飲料メーカー・ベンダー各社のご協力のもと、現在では180か所以上にTFTの寄付つき自販機が設置されています。



トヨタ自動車株式会社 東京本社の食堂



社員食堂から始まったTABLE FOR TWOプログラム。様々な食に関連する場で、TFTに参加ができるようになっていきます。



**社員食堂でのTFTビュッフェ:** 2009年からTFTプログラムにご参加いただいている資生堂では、10月16日世界食料デーにあわせ、社員食堂でTFTビュッフェをご実施いただきました。タンザニアやチュニジアの料理を含んだメニューも準備され、食事を楽しみながら、そして適正な量を自らで考えながらTFTプログラムにご参加いただくことができました。



**ラッピング自動販売機:** TFTプログラムを食堂だけでなく飲料でも、というアイデアから生まれた“CUP FOR TWO”も、今では180か所以上で導入されています。日々のふとした瞬間にも、私たちが自らの健康やアフリカの食料問題について意識できる機会が作られています。



**コンビニ:** スリーエフでは7月、8月に「つなごう まごころ 東北へ！」キャンペーンのなかで、東北産の米とのりを使ったおにぎりにTFTへの寄付をつけていただきました。半分がアフリカの学校給食に、半分が東北の食事支援に用いられるTABLE FOR TWO plus 東北の仕組みでの支援となりました。また、ファミリーマート代官山店でも、「おとなコンビニ研究所」認定商品にてTFTプログラムをご実施いただきました。



**お弁当・ケータリング:** 会議用のお弁当やパーティーのビュッフェ・メニューでもTFTプログラムが始まっています。揚げ物メニューの多いビュッフェですが、野菜たっぷり・カロリー控えめのTFTメニューは人気を集めています。



**ショッピングモール:** カレッタ汐留のレストラン街では、2010年秋から約10店舗にてTFTメニューを提供いただいています。タイ料理や沖縄料理など、様々なジャンルのレストランでTFTにご参加いただけます。

あなたち、コンビニ、  
**FamilyMart**



**カラオケ:** ビッグエコーではヘルシーフード・ドリンクにTFTへのご寄付をつけていただいています。楽しく歌って、美味しいスナックを食べて、同時にアフリカの子どもたちを支援できる-TFTの活動の輪は着実に広がっています。



**ピザ:** 通常よりカロリー・塩分40%オフの「ボナ・ペティート」がTFTメニューとしてドミノ・ピザで販売されました。家族や友人が集まるパーティーだけでなく、普段のご飯にもぴったりの、軽い食感のシリーズです。



**ジュートプランター:** ジュートからできたプランターに入った野菜を育てることで、アフリカの学校給食を支援できるようになりました。エコ栽培キットを販売するEuvodesignのご協力により、TFT栽培キットを用いてベランダガーデニングを楽しみながら、TFTプログラムにご参加いただけます。



**Euvodesign**

# 料理する

これまで、社員食堂など外食を通しての参加がメインであったTFTプログラム。2011年には、家庭でヘルシーな料理を作りながらも、TFTプログラムにご参加いただける機会ができました。自らで料理することは、その食材がどこで生産され、どのように調理されるのか、考えるきっかけとなります。様々な形で食を通じてTFTプログラムに参加することで、健康的な食生活についてより深く考える機会が増えていきます。

レシピを考える >>>

食材を準備する >>>

料理する >>>

レシピを投稿する >>>

食事を記録する



TFT初のレシピ本「世界をつなぐあこがれ企業の社員食堂レシピ」(東洋経済新報社)が2011年7月に発売されました。電通、資生堂、三井住友銀行、POLA、東京ガスの社員食堂で実際に提供されている、ヘルシーかつ満足感いっぱいのメニューが満載のレシピ集となっています。

インターネットスーパーのOisixでは、2009年から様々な食材をTFT商品として販売されています。2011年には、レシピ付き食材セットが提供され、おいしく気軽に家庭でTFTに参加できるようになりました。

調理器具で初めてのTFT商品が登場しました。チェリーテラスが取り扱うハンディ・フードプロセッサー・BamixがTFTへの寄付付き商品として販売されました。つぶす、混ぜる、泡立てる、砕く、刻むなどの機能でヘルシーメニューの調理に大活躍してくれます。

さらには、作った料理のレシピを投稿することでも、TFTプログラムに参加できるようになりました。楽天レシピにオリジナルレシピを2つ投稿するごとに、楽天からTFTへ1食の給食が届けられます。

食事をiPhoneで撮影しアップするだけで、画像からカロリーと栄養バランスを自動解析するTFTのアプリが登場しました。ヘルシーな食事の写真をアップした際には、協賛企業からの寄付というかたちで、アフリカの子どもたちに学校給食が届きます。

\* 協働パートナー：  
foo.log株式会社  
株式会社電通  
株式会社電通レイザーフィッシュ

# 子どもたちとTABLE FOR TWO

アフリカで暮らす子どもたちへ給食を届けるTABLE FOR TWO。これまでは、社会人や大学生を中心にプログラムへ参加していただいていた。日本の子どもたちも、TFTサポーターの一員となりはじめています。保育園での食育を通して健康的な食文化を体感し、また絵本を通して世界には様々な環境で、多様な食生活を送っている子どもたちがいることを感じることができます。



“ある日かしのきじいさんから招待状が・・・  
過食、孤食、偏食、飢餓などの問題を抱えた世界中の子どもたちが、  
パーティーにやってきました。  
彼らは食べ物のかたよりを、どうやって解決するのでしょうか？...”

TFT親善大使の内田恭子さんによる絵本「みんなでいただきます」(文・内田恭子、絵・藤本将、講談社)が12月に発売されました。子どもも大人も、無くては生きていけない食べ物。それは日本だけでなく、世界の様々な国で暮らす子どもたちにとっても、とても大事なものです。子どもたちと楽しく絵本を読みながら、世界には様々な食文化があり、それぞれが問題を抱えているということ、この本を通して体感することができるようになりました。

2011年10月、日本興亜スマイルキッズ江戸川橋保育園(認可保育園)で、TFTプログラムがスタートしました\*。幼児向けのTFTプログラムでは、食に興味を持ってもらい、友だちと一緒に、マナーを学びながら、野菜をたくさん食べることを推奨しています。初めてのTFTの日には、「秋冬の食材根菜を知ろう!」をテーマに、様々な野菜が出てくる絵本の読み聞かせの後に、直接野菜に触りながら調理のお手伝いをしてもらいました。根菜たっぷりの給食を、いつもより多くの子どもたちが残さずおいしく食べることができました。

\*給食を食べた幼児数(離乳食対象児童以外)×20円を保育園が寄付





学生たちも、TABLE FOR TWOを通して様々なメッセージを発信しています。

TABLE FOR TWO大学連合(TFT-UA[University Association])は、日本全国の130校以上、約800名の大学生で構成されている学生組織です。メンバーは所属大学の学生食堂にて、TFTプログラムの導入・運営サポートを行っています。現在では89校の学生食堂にてTFTプログラムが実施されています。

TFT-UAの活動は、学生食堂だけでなく、様々なかたちで広がっています。



## TFT@経堂

10月24日～11月6日の期間、経堂駅周辺の商店街の店舗にTFTを導入するキャンペーンを行いました。企画は東京農業大学のUAメンバーが中心となり、5店舗にご参加いただきました。UA発の街を巻き込んだ取り組みです。



## UkiA(UA教育プロジェクト)

UAメンバーが小中学校に出向き、世界の食糧問題について出張授業を行っています。2011年は2回開催されました。普段自分達が食べている食事について、そして世界の食事情を授業で知った後、アフリカの給食であるポショや、おやつ用のサモサを作り、「いただきます！」と食への感謝をこめて、おいしくいただきました。

## PARCO浦和店×UA

2月4日～28日の期間、PARCO浦和店のバレンタイン企画の一環として、店内の飲食店9店舗に、TFTメニューが導入されました。埼玉大学のUAメンバーが期間中、メニューのリポート等を行いました。



## FUTSAL FOR TWO

フットサルをすることでカロリーを消費し、その分をアフリカの子供達へ送ろうというフットサル大会です。2010年から始まり、これまでに3回の大会の開催を通じて、13,115食をアフリカへ届けることができました。

世界の食の不均衡について考えるきっかけをつくり、同時に、アフリカでの学校給食支援プログラムにご参加いただくために、さまざまな企業・団体にご協力いただきながら、キャンペーンを展開しています。



1月、2月にはJR東日本のエキナカコンビニNEWDAYSで「カラダほっこりxココロうおい」キャンペーンが実施されました。ヘルシーなお弁当やおにぎり、サンドイッチ、冬にぴったりのスープメニューや温野菜、トーストサンド等を中心にTFTへの寄付つき商品61品目が発売されました。多くの方にご利用いただき、30万食以上の学校給食を支援できるだけの寄付をいただきました。



冬にぴったりの、体を温める生姜を使用したおにぎりやパン、グラタン風トーストサンド、コラーゲン入、豆乳使用など、女性が気になる素材をたっぷり使った商品が並びました。



自動車メーカーのFIATが、NPOや非営利団体とのコラボレーションを中心に展開している社会貢献活動『Share with FIAT』で、TFTの活動をご支援いただいています。FIAT CAFEでのTFTメニューご提供やイベント開催などにご協力いただき、より多くの方にTFTプログラムにご参加いただくことができました。



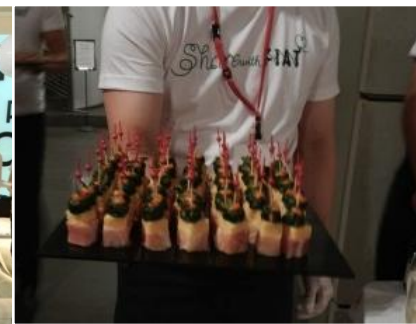
FIAT CAFEのTFTメニュー



内田恭子さんの読み聞かせ



FIAT CAFEでのお料理講座



Share with FIATシンポジウムで提供されたTFTメニュー

10月16日の世界食料デー(世界中の人が食べ物について考える日。国連制定。)を記念し、先進国に暮らす人々がヘルシーな食事を通して、キャンペーン期間中にアフリカの小学校へ給食100万食を届けることを目指す、『100万人のいただきます!』キャンペーンを実施しました。  
\*キャンペーン実施期間: 2011年10月16日(日)~11月30日(水)



キャンペーンキービジュアル制作: 株式会社電通  
キャンペーンサイトデザイン: Yasuyoshi Manei [ROOP design]

## イベントに参加

10月16日の世界食料デー前後には、日本国内で6地域、アメリカでは3地域で「いただきます」イベントを開催しました。東京ではTFTの支援先の1つルワンダ・バンダ村の視察報告、TFT編著「あこがれ企業の社員食堂レシピ」にまつわるトークなど、世界とつながりながら、楽しく、そして、ちょっとマジメに「食」について一緒に考えました。



## 食べて参加

キャンペーン期間中、様々なTFTへの寄付つきメニューや商品が新発売されました。

あなたと、コンビニに、  
**FamilyMart**

カロリーオフの  
キャンディーとガム



**Oisix**  
おいしいてす

3日分のレシピつき  
食材BOX



**J-Retail**

パンケーキのようなワンハンド  
おやつ【野菜カレー味】



## 大学生の活躍

グローバルフェスタへの出展、学生向けイベントTFT one step、全国23大学の学園祭出展、チャリティフットサルイベント、栄養学を学ぶ女子大生によるTFT42 MOE CAFÉ、ごちそうさまパーティー、中学校での「食」に関する出張講座、など、全国のTFT大学連合主催の様々な企画が開催されました。



## オンライン で参加

PCやスマートフォンを活用したプログラムで、全国にTFTプログラム参加の輪が広がりました。

## 楽R天レシピ

期間中、1レシピ投稿するごとに、給食1食分に相当する20円をご寄付いただきました。



**twitter**

世界各地のTFTサポーターが期間中に #Itadakimasu というハッシュタグ付きのツイートで、食について考えました。



New York

Washington DC

Columbus

San Francisco

Salt Lake City

Los Angeles

Glendale

UK

Italy

Norway

Swiss

Korea

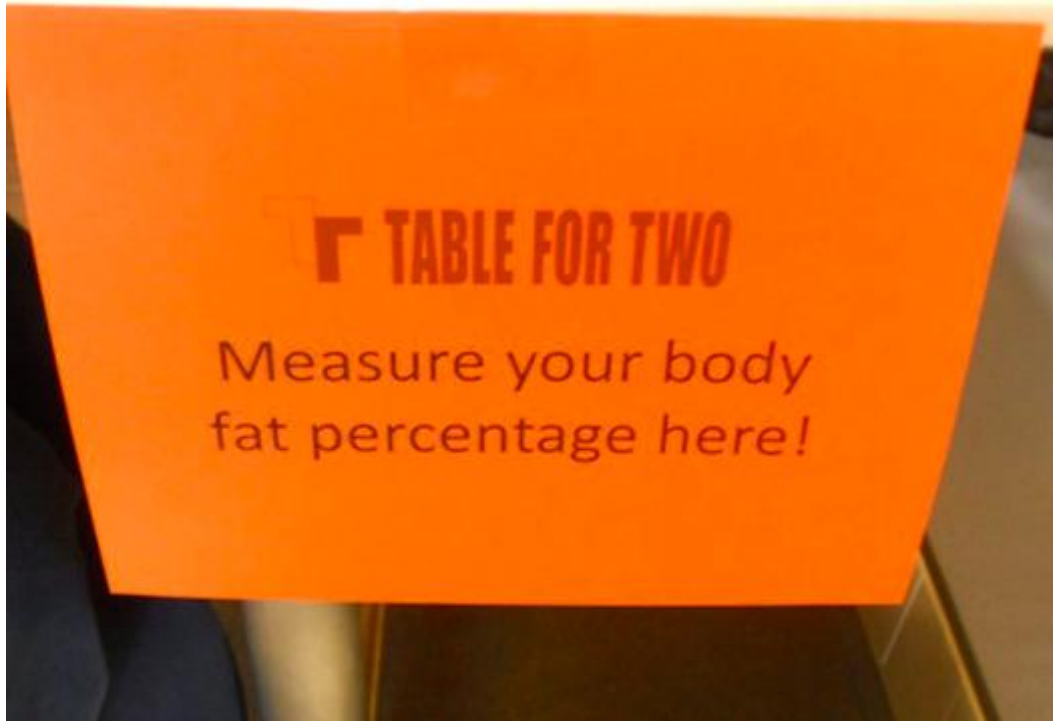
Hong Kong

Taiwan

Philippines

4

TABLE FOR TWO Program  
around the world



2010年ニューヨークから始まった、TFTのアメリカ展開。

子どもから大人まで蔓延する肥満。自然のシステムに反した食料の生産。  
大量生産大量消費の社会が生み出す多大な食料廃棄物。

食料に関する問題を多く抱えるアメリカでも、TFTの仕組みが広がりを見せています。

レストランでは、全米7州(ワシントンD.C.、メリーランド、カリフォルニア、ユタ、バージニア、ニューヨーク、ケンタッキー)計14店舗にてオリジナルのTFTメニューが提供されています。TFTプログラムを実施いただいているレストランの多くは、日本食を提供しています。ヘルシーかつクールなイメージの強いアメリカでの日本食に、社会貢献の要素をプラスしたTFTメニューは、多くの人々に受け入れられ始めています。

一方、アメリカの大学に通う学生たちの活動も、さらに活発となっています。アリゾナ、カリフォルニア、ニューヨーク、オハイオに位置する4大学にて、TFTが導入されるに至りました。日本と同様にアメリカの大学でも、世界が抱える課題や最先端の活動に敏感な学生たちが多く集まっています。そんな学生たちが中心となり、大学へのTFTプログラム導入に向けた交渉を行い、同時に世界の食料問題へ目を向けさせるようなイベントを頻繁に行っています。その他にも、英語化している“Bento”をTFTメニューとして販売し、新たな日本独自の食文化に新しさを追加した形も生まれています。





# A sia

2011年は、アジアでの広がりも目覚ましいものがありました。これまでも実施されていた台湾のレストランでの実施に加え、香港でもTFTプログラムがスタートしました。

11月には大々的なキックオフイベントも開催されました。香港在住の起業家や料理研究家、カリスマシェフや人気ラジオパーソナリティも参加し、華やかなオープニングパーティーとなりました。街中の飲食店での導入が拡大し、2012年3月時には、計28レストランにてTFTメニューが提供されています。

また韓国ではTFT代表小暮著「20円で世界をつなぐ仕事」の韓国語訳が発売され、TFTの認知度が高まっています。韓国の企業の社員食堂でのTFTプログラム導入に向けて、準備が進んでいます。

## Fit & Fun Menu

(Available on Monday - Thursday only, except the day before & on public holiday)

**Mixed tomatoes, red onion, arugula, Manchego & black truffle salad**  
雜錦蕃茄、紅洋蔥、芝麻菜、西班牙芝士及黑松露菌沙律

**“Escalivada” Roast peppers, eggplant & onions toast with smoked anchovies**  
雜菜焗多士配煙燻銀魚柳

**White asparagus with porcini mushrooms & green pea sauce**  
清炒白露筍配牛肝菌及新鮮青豆汁

**Grilled eggplant with tomato salsa**  
炭燒茄子配蕃茄沙沙

**Pan fried turbot with sauté vegetables**  
香煎多寶魚配炒雜菜

**Pumpkin cream with egg & artichokes**  
南瓜忌廉配有機溫泉蛋及朝鮮釧

**Wild mushrooms & black truffle juicy rice**  
野菌及黑松露菌焗飯

**The Spanish trio: Churros, catalan cream & “Brazo de gitano”**  
西班牙特色甜品：特色西班牙炸脆條、加泰隆焦糖奶凍及西班牙朱古力忌廉蛋糕卷

**\$398 per person (minimum 2 persons)**

Plus 10% Service Charge



Part of our proceeds will be donated to the "TFT" charity program

イギリス・ロンドンに拠点をもつ2社(野村グループロンドン支店、アクセンチュア)の食堂でのTFTプログラム導入、スイス・ダボスで開催された世界経済フォーラムの食事にTFTメニューが提供された2010年に加え、2011年にはノルウェーでもTFTの展開が始まりました。オスロ郊外のAkershus University Hospitalにて、2012年1月よりTFTメニューが提供されています。一日平均1,000人の人々が利用するこの食堂では、サラダビュッフェや野菜や魚をメインにした料理が、TFTメニューとして提供されています。またイタリアでも、ボランティアメンバーによるTFTローマが設立され、食への関心が高いイタリアに暮らす人々へTFTの活動を広めるため、企業やレストランでの導入に向けた活動が広がりつつあります。



Akershus University HospitalでTV取材に対応するBjarte Reve  
ノルウェーのYoung Global Leadersの一人でTFT導入の立役者です



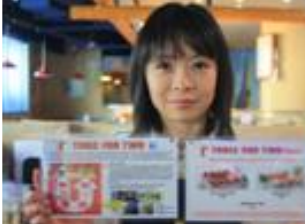
サウジアラビア西部ジッダに本社を構える製薬・消費材メーカーのTamer Groupからご寄付が寄せられました。中東地域での初めてのTFT支援企業であり、2012年には社員食堂でのTFTプログラムの実施も検討されています



2011年1月26-31日スイス・ダボスにて、世界経済フォーラム(ダボス会議)が開催されました。各国政治指導者や企業経営陣、ジャーナリストなど多彩な分野で活躍する人々が一同に会する中、期間中のランチではTFTメニューが提供されました。2007年以來、毎年ダボス会議では継続してTFTプログラムが実施されています。

# We TABLE FOR TWO

Order for one. Feed two.  
And help the world eat better.



Country	Type	Name of organizaion
USA	Restaurant	Sushi Taro, DC
		Yosaku, DC
		Tono Sushi, DC
		Matsuba, MD
		Tako Grill, MD
		Rice Bar, DC
		Sanraku, CA
		Satsuma, MD
		Thai Garden, UT
		Maneki Neko, VA
		Matsuya, KY
		Café Zaiya, NY
		The Kitano New York Hotel, NY
		The Ambassador Grill, NY
Catering	FUJI Catering (now BentoOn), NY	
Corporation	AIG / Restaurant Associates NY	
School		Thunderbird School of Global Management, AZ
		University of San Francisco CA
		Columbia University, NY
		Capital University, OH
		Bellarmine College Preparatory (High School), CA
Other		Food Couture, PA
		amuse Japan kraft, Japan
		Sproos Shop, NY
		The Sushi Chef Institute, CA
UK	Corporation	野村グループロンドン支店 アクセンチュア
Switzerland	Organization	World Economic Forum
Norway	Hospital	Akershus University Hospital
Taiwan	Restaurant	えん台北店
Hong Kong	Restaurant	Café O Caine Rd.
		Xia Mian Guan, 夏麵館
		Masamura Sushi
		PURE Bar + Restaurant
		Suzuki Café
Corporation		Goldman Sachs (Cheung Kong Center)
		Lane Crawford
		Dentsche Bank Group
		ING
		Credit Suisse





# 5 School Feeding Program

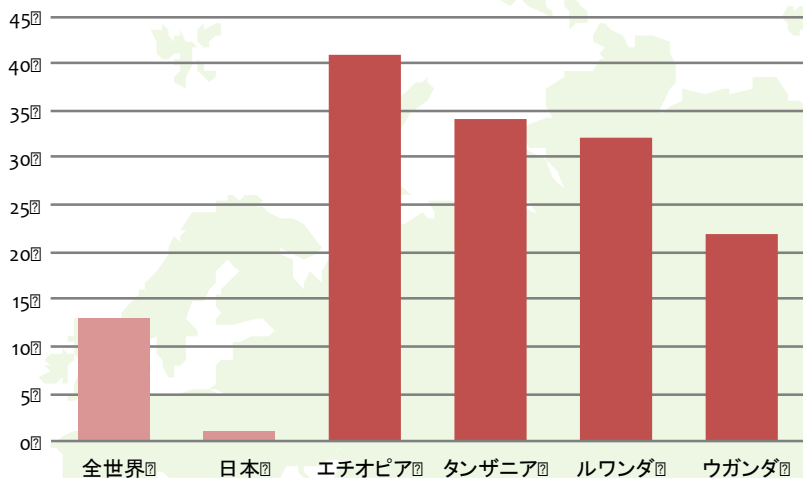
## - Solving Hunger -

先進国でTFTのヘルシーメニューを食べることで、その一食がアフリカで温かな学校給食に生まれ変わります。

アフリカでの給食は大きな役割を果たしています。子どもたちの健康状態を改善するだけでなく、お腹が満たされることでより学業にも集中できるようになります。また、学校給食の運営を通して、コミュニティの大人たちの姿勢にも変化がみられるようになってきています。



栄養不足人口の割合(%)



参考: FAO Under Nourished Population Map

## 子どもたちが成長するのに 十分な栄養を必要としている

国際連合食糧農業機関 (FAO) の統計によると、アフリカの栄養不足人口 (食料摂取量が恒常的に最低エネルギー必要量以下である人) の割合は依然として世界の中でも突出して高いものになっています。特に子供は必要なエネルギーが不足すると病気にかかりやすく、はしかや下痢といった一般的な病気によって命を落とすこともあります。

ウガンダではTFTが支援を行う給食プログラムによって一日に必要なエネルギーを補うだけでなく、また、成長期に欠かせないビタミンAと鉄分の75%を子供たちに提供しています。

学校給食によって必要なカロリーを提供することはアフリカの子どもたちの栄養改善に大きく役立ちます。

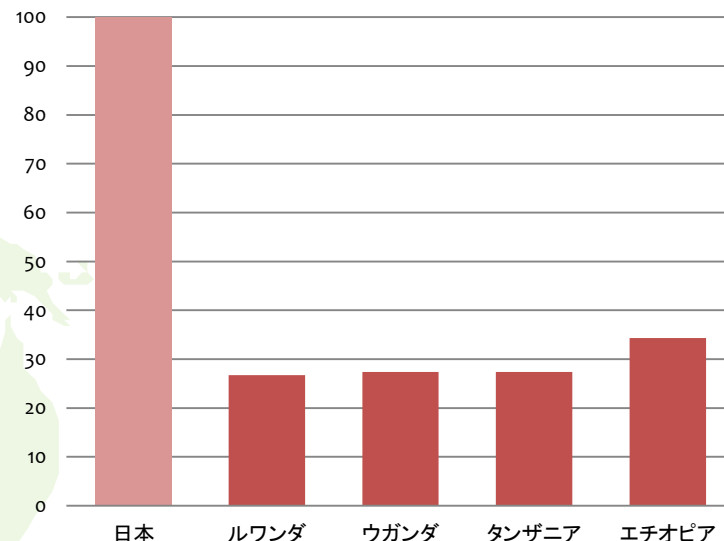
## よりレベルの高い学習の機会が求められている

アフリカの中等教育進学率は世界の中でも低いものになっています。その理由の一つとして挙げられるのが、初等教育の中退率の高さ。国連ミレニアム開発目標報告書2010によると、サブサハラ以南の国では10人のうち3人の子どもが小学校を中退しているとされています。

TFTが支援を行うルワンダでは給食プログラムの開始後に中学校への進学率の向上が報告されています。

TFTが支援を行っている学校給食は子どもたちが学校に行くきっかけを与え、子どもたちの将来の夢をかなえる手助けをしています。

中等教育進学率(%)



参考: UNDP Human Development Report 2011



一皿の温かい給食は子どもたちにエネルギーと、勉強の機会を提供します。日本では当然の給食ですが、アフリカでは学校に行っても給食を食べることの出来ない子どもが大勢います。給食は、子どもが継続して学校に通うきっかけになっています。

## 給食がもたらす機会

給食プログラムは子どもが学校に通うきっかけとなります。学校に給食が導入されることで、家庭で一食分の負担をする必要がなくなり、保護者にとっても子どもたちを学校に通わせるインセンティブになります。また、給食プログラムによって女子の就学率や出席率が高くなることも、証明されています。

## 継続した勉強ができるように

給食プログラムが継続して行われることで子どもたちが学業に集中して取り組める環境ができます。また、継続して学校に通った結果として成績も向上しており、安定した給食の提供は子どもたちに中等教育への進学機会を提供しているといえます。

給食プログラムは、栄養バランスのとれた食事の提供に留まりません。給食の前に手洗いをすることや、食後に食器を洗うことなどを通じ、衛生面や栄養面など様々な分野の勉強の場にもなっています。



学校給食がもたらす効果は子どもたちのみにとどまりません。子どもたちによりよい給食を食べさせたい。そんな人々の気持ちが給食を通じて一つの大きな流れをつくりだします。給食システムの導入は、両親、農家... 地域全体を活性化するきっかけとなっています。

## 給食を作る

給食プログラムの準備・調理・配膳・片付けは地元の人によって行われます。地元の人たちが自らの手で給食を子供たちに届けることで、給食の大事さを理解するとともに、栄養・勉強の大切さを認識していきます。



## 地元農家と協働

学校給食の食材は可能な限り地元のコミュニティから調達されています。原材料を地元から調達することで地元の農産物が安定的に購入され、地元農家とその家族の生活向上にも一役買っています。

## サステイナブルな学校給食に

TFTは支援終了後も、現地コミュニティで持続的に給食プログラムが行われることを目指しています。例えば、マイクロクレジットで苗木を購入できるようにし、そこで栽培された作物を給食の材料にする等、長期的にコミュニティで運営可能なシステム作りを目指しています。

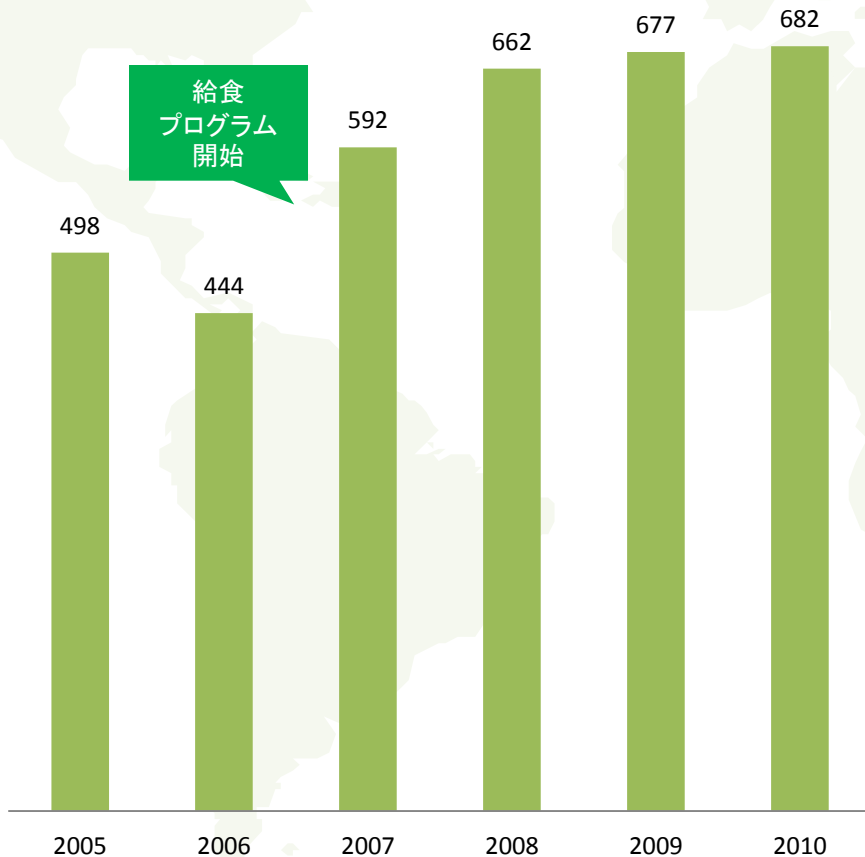


2011年

598万6,089食をアフリカに届けました。

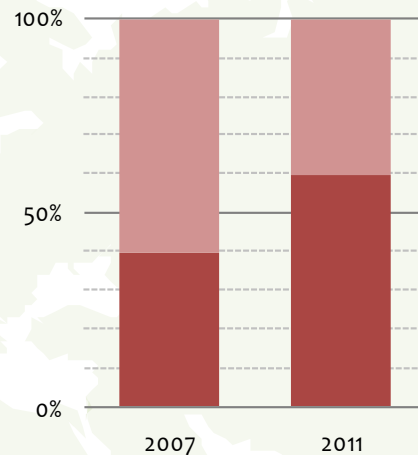
## 1. Grade7在籍生徒数(人)

TFTの支援先では学校に入っても途中で通えなくなる子どもが多くいます。給食プログラムは、子どもたちが継続して学習する支えになっています。



## 2. コミュニティの給食プログラムへの協力

給食を提供するための負担比率(%)



コミュニティ負担比率の増加はコミュニティが積極的に給食プログラムに参加していることを示しています。

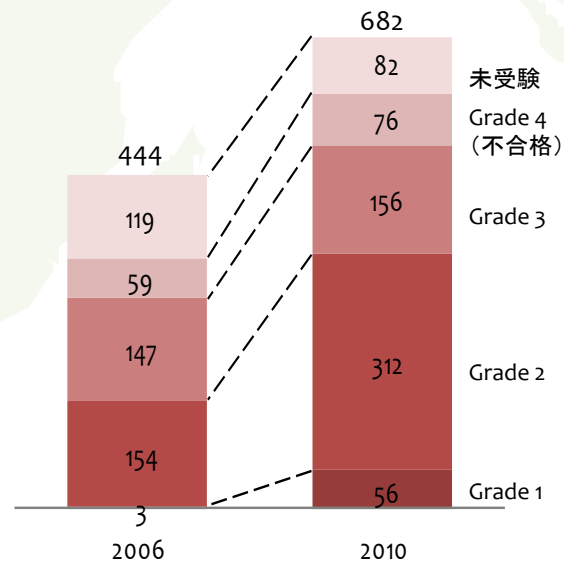
TFT支援終了後もコミュニティによって給食プログラムが運営されることが大切と考え、コミュニティの参加を重視しています。

- TFT負担 …主にメイズ、豆、調味料、学校菜園の運営支援など
- コミュニティ負担 …野菜、燃料、調理者への報酬\*など

\* ボランティアで参加している親もいるため、調理に携わっている人数と時間から換算した金額をもとに負担比率を算出しています

## 3. 小学校から中学校に進学できる生徒の増加

小学校の卒業試験の成績(人)



ウガンダでは小学校卒業時に全員が試験を受けることになっています。Grade1が最も成績が良く、Grade1~3の生徒が中学校に進学することができます。

TFTが支援を開始した2005年から2010年にかけて最終試験に参加できる生徒が約1.5倍にただでなく、スコアの高いGrade 1, Grade 2の生徒は約2倍になりました。



支援地域の一つ、エチオピア北部ティグライ州ハウゼン地区に位置するコロロ村。この地域は気候変動の影響を特に受けやすく、2011年「アフリカの角」大干ばつでの被害を被っている地域でもあります。他のTFT支援地域と同様に、多くの家庭が農業に従事している一方、農業用水を安定的に確保するための灌漑設備の整備はまだ発展途上にあります。そのため、少しの雨量の変化が農業の生産量に大きく影響し、子どもたちの家庭の食料や収入を得る機会を脅かすことも少なくありません。そのような食の安全保障を確保するのに人々が尽力しているコロロ村にて、TFTでは2010年から村内22の小学校で学校給食プログラムを支援しています。栄養価へ配慮から、給食にオレンジが添えられているこの地域では、コミュニティ全体での安定的な食料生産にも力を注いでいます。

## 水がもたらすもの

この地域では、地方政府と他支援団体により、農業生産性の安定・向上のために灌漑設備の整備が進められています。井戸を設置することで、乾期中にも農作業ができるようになり、一年を通して食料を生産できるようになります。この地域では、雨期に集中的に農業が行われ、翌年の収穫までの食料を確保しています。雨期に十分な雨が降らなかったり、異常な降雨などが起こると、生産量が減少し、翌年の収穫期がくる前に食料が底をついてしまうこともしばしばあります。灌漑を通して、乾期にも農業・収穫ができるようになれば、一年を通して食料を安定的に確保できるようになります。同時に、現地マーケットで食料が不足する時期に生産・販売することにより、より多くの現金収入の機会が生まれます。このような農業へのサポートも行うことで、一年を通して子どもたちが学校でも家庭でも継続的に食事をとることのできる環境づくりが進んでいます。



ルワンダでは、首都から約30km南西に位置するマヤンゲ地区、またルワンダ南西部ニュングウェ国立森林公園内のバンダ村にて、学校給食をサポートしています。ルワンダでは、小学校の学校給食だけでなく、幼稚園に通う4-6才の子どもたちへも、温かい給食を届けています。(マヤンゲ地区では小学校・幼稚園、バンダ村では幼稚園にて学校給食プログラムを運営しています。)



## 給食プログラムを通じて現金収入の機会を提供

ルワンダのバンダ村では、ほぼ全ての住民が零細農業を営んでおり、余剰作物をマーケットに売ることのできる現金収入を得ています。TFTでは給食プログラムを通じて準備・調理・配膳・片付けという日々の運営に地元の人を雇用することで貴重な現金収入の機会を提供しています。給食室の大きさから一度に作業できる人数は限られますが、今後給食室を拡大し、さらに多くの村人たちを巻き込みながら、より多くの子どもたちへ給食を届けていくことが計画されています。

## 森林を将来の世代に残すために

給食を運営するにあたり、燃料を安定的に確保するという点も重要な要素となっています。無秩序な森林の伐採は、自然環境の破壊につながります。そこでバンダ村では、段ボールや木くずを用いた「ブリケット」という固形燃料の製造が始まっています。このブリケットは資源を再利用できるのみならず、調理した際の煙が少ないため調理をするコミュニティの人々の健康被害を減らすことも期待されています。今後はブリケットを増産し、余剰分を販売して、利益をコミュニティに還元することを目標としながら、持続可能性の高い給食プログラム運営を目指していきます。

※マヤンゲ地区の給食運営はTFTの提携NPOであるミレニアム・プロミスの主導で実施されています。小学校での給食材料調達に関しては、他団体と共同で行っています。

※※ルワンダ南西部バンダ村での幼稚園給食プログラムは現地NGO・カゲノとの協働で実施しています。

# Tanzania

タンザニア西部に位置するタボラ州ムボラ村にて、2011年秋から17の小学校に通う約9000人の子どもたちへ学校給食を届けています。州都のタボラは植民地時代より交通の要所として発展していますが、タボラから離れたムボラ村では、水道や電気などのインフラも整備されておらず、多くの住民は零細農業を営みながら自給自足の生活を営んでいます。

この地域の小学校には、給食施設はあるものの給食プログラムの運営が中断してしまっている状況が続いていました。そのような状況の中、現地の人々からの給食再開を願う声が高まり、コミュニティ住民がプログラムへの協力をコミットしたことを契機に、給食プログラムが再開されました。現在はコミュニティ住民が子どもたちの給食のために自主的にトマトや小魚を持ち寄り始めています。

## 衛生環境にも配慮を

同時に子どもたちへの衛生教育も、学校主導で行われ始めています。高学年の生徒たちを中心に保健衛生の啓発活動を行う課外活動クラブが結成され、「井戸から汲んできた水は、沸騰させた方がよい」「食べ物を保管するときは、虫除けの覆いを使う」といった基礎的な知識を、紙芝居や劇を通して広めています。このような衛生教育を行うことで、子どもたちだけでなく、家庭での衛生環境改善にも繋がることを期待されています。

※学校給食運営はTFTの提携NPOであるミレニアム・プロミスの主導で実施されています。





ウガンダでは、首都カンパラから300km南西に向かったタンザニアとの国境にほど近い、山間の「ルヒイラ地区」を対象に事業を行っています。2007年TFT設立当初から、21の小学校にておよそ1万人の子どもたちへ温かい学校給食を届けています。

※学校給食運営はTFTの提携NPOであるミレニアム・プロミス主導で実施されています。



## コミュニティと共同でつくりあげる給食プログラム

ルヒイラ地区では4年にわたって支援活動を行っており、支援の成果が着実にコミュニティの活動に現れています。2010年には食材費の半分以上をコミュニティで負担するようになりました。また給食の栄養価を高めるための野菜を栽培する学校菜園が盛んになり、キャベツ、ニンジン、トマトなどの野菜が様々栽培されています。

給食プログラムを導入することによって増加する生徒数（2010年は2006年比約1.5倍の生徒数）に対応するために、地域住民が自ら労働力を提供して校舎を増設する動きもあります。TFTは今後も給食プログラムを通じてルヒイラ地区のコミュニティをサポートしていきます。

Uganda

# TABLE

## 6 TABLE FOR TWO

### 団体概要

TABLE FOR TWOが届ける先進国での健康的な食事、そして開発途上国での温かい給食。これらは、TFTを支えてくださる方々の力無しで成し遂げられるものではありません。TABLE FOR TWOの活動を支えてくださる方々をご紹介します。



# 2011

## パートナー

パートナー企業には資金のご提供をいただいております。TABLE FOR TWOの輪を広げ、社会事業を育成するために、力強いご支援をいただいています。



## アドバイザー

アドバイザーの方々にはTFTの戦略、運営に関するご相談をさせていただき、アドバイスをいただいております。

石倉 洋子	慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科教授
川口 順子	参議院議員 元外務大臣
黒川 清	元内閣特別顧問
小泉 泰郎	ゴールドマン・サックス証券株式会社 投資銀行部門 資本市場本部 マネージング・ディレクター
竹中 平蔵	慶應義塾大学教授 グローバルセキュリティ研究所所長
田村 次朗	慶應義塾大学法学部 教授
三國 清三	シェフ、株式会社ソシエテミクニ代表取締役

## 創設者会議

創設者会議は、TFTの活動に対する協力と、理事会における重要な意思決定に対するアドバイスを行います。TFT創設者の3名によって構成されています。

近藤 正晃	Twitter日本代表／一橋大学客員教授
堂前 宣夫	株式会社ユニクロ上席執行役員
古川 元久	衆議院議員

## アンバサダー

アンバサダーの方々には、様々な場面でTFTの活動についての発信をサポートいただいております。

内田 恭子 様	キャスター
ANGELA 様	モデル

## プロフェッショナル・サポーター

プロフェッショナル・サポーターの方には、法務、財務、ウェブ構築などの専門的な分野にて、サポートをいただいております。

### 【法人】

#### セールスフォース・ドットコム ファンデーション

- ・Salesforce CRM ライセンスの無償提供と、運用に関するアドバイスをいただきました
- ・セールスフォース・ドットコム社員の皆さんに、ニュースレター発送作業などをお手伝いいただきました

#### 日本ヒューレット・パッカード株式会社

- ・業務用のパソコン5台を無償供与いただきました

### 【個人】

渡辺 伸行 様	TMI総合法律事務所 弁護士
佐藤 俊司 様	TMI総合法律事務所 弁理士
山田 薫 様	TMI総合法律事務所 弁理士
相澤 光江 様	村瀬 悟 様

ビンガム・マカッチェン・ムラセ外国法事務弁護士事務所 坂井・三村・相澤法律事務所(外国法共同事業) 弁護士

鎌田 幸子 様	司法書士
佐佐木 由美子 様	社会保険労務士
林 万里子 様	税理士

真根井 靖嘉 様 デザイナー

## 社会人サポーター

社会人サポーターの皆さんは本業を持ちながら、勤務時間外に様々なアイデアとスキルを駆使して、TFTの活動を支えてくださっています。

- ・TABLE FOR TWOサロン：TFTの活動に興味を持ってくださる方が集まる場「サロン」や読書会を隔月のペースで開催いただきました
- ・VegeTABLE FOR TWOチーム：ジュートからできたプランターに入った野菜栽培セットにTFTへの寄付をつける、という新たな取り組みが始まりました
- ・名古屋、関西、四国、九州でも社会人サポーターの皆さんが独自の活動を展開してくださっています

# ディア掲載一覧(2011年)

日本経済新聞  
(2011年10月22日)



## 新聞

日本経済新聞	1月14日
交通新聞	1月17日
朝日新聞	2月1日
繊維新聞	2月10日
山口新聞	2月15日
日本経済新聞	3月2日
朝日新聞	3月9日
日本食糧新聞	4月20日
毎日新聞	5月10日
ニッポン	6月10日
日本経済新聞	6月11日
毎日新聞	6月15日
毎日新聞	6月17日
CAPITAL	7月11日
毎日新聞	7月13日
福井新聞	8月3日
フジサンケイビジネスアイ	8月6日
読売新聞	9月2日
西日本新聞	9月10日
日本経済新聞	9月12日
北國新聞	9月21日
北陸中日新聞	9月22日
朝日新聞	10月18日
日本経済新聞	10月19日
読売新聞	10月22日
西日本新聞	10月25日
産経新聞	10月27日
日本経済新聞	11月4日
朝日新聞	11月10日
サンケイスポーツ	11月22日
中日新聞	12月13日
成蹊大学新聞	12月16日
日本経済新聞	12月17日
日本経済新聞	12月23日

計34回

## ラジオ

TOKYO FM あぐりずむ	1月26日	J-WAVE JK Radio TOKYO UNITED	9月30日
TOKYO FM あぐりずむ	1月27日	J-WAVE Listen to Africa	10月10日
Inter FM Green Station	2月5日	Inter FM Concerned Generation	11月5日
J-WAVE GROWING REED	2月6日	Inter FM Concerned Generation	11月12日
J-WAVE LOHAS TALK	2月14日	FMヨコハマ E-ne! ~good for you~	12月28日
J-WAVE LOHAS SUNDAY	9月4日		

計11回

## 雑誌

Grazia	2月号	VERY	6月号
Grazia	3月号	Grazia	7月号
priv.	3月(春号)	Grazia	8月号
Tarzan	3月24日	THE21	8月号
Grazia	4月号	健康保険	7月15日
ミセス	4月号	Grazia	9月号
VOGUE NIPPON	4月号増刊	Grazia	10月号
女性セブン	4月24日	Ozmagazine Travel	9月8日
日経TRENDY	5月号	Grazia	11月号
ESSE	5月号	女性自身	10月18日
LEE	5月号	日経ビジネス	10月31日
Grazia	5月号	Grazia	12月号
エル・ア・テーブル	5月号	週刊エコノミスト	11月1日
Nina's	5月号	日経ビジネス	11月7日
すてきな奥さん	5月号	25ans(別冊付録)	11月28日
edu	5月号	Grazia	2012年1月号
Grazia	6月号	週刊ダイヤモンド	12月3日
Domani	6月号	ミセス	12月7日
Oggi	6月号	日経ビジネス	12月12日
リンネル	6月号		

計39回

## テレビ

中部日本放送「イッポウ」	1月6日
フジテレビ「スーパーニュース」	1月18日
NHK「おはよう日本」	1月18日
千葉テレビ「MUSIC FOCUS」	1月20日
テレビ東京「NEWS FINE」	1月24日
東海テレビ「スーパーニュース」	3月2日
NHK大分放送局「NEWS TODAYおおいた」	7月2日
中京テレビ「ストレイトニュース」	8月25日
テレビ東京「内田恭子のびっくり! カイシャ見学」	9月18日
NHK「おはよう日本」	9月29日
南海放送「日テレニュース」	10月17日
TBS「Nスタ」	11月8日
テレビ東京「WBSニュース」	12月2日
テレビ東京「内田恭子のびっくり! カイシャ見学」	12月29日

計14回



Tarzan  
(3月24日号)



Grazia(10月号)



## Web記事

cnet Japan	2月25日	産経ニュースWEST	10月27日
オルタナ・オンライン	3月8日	毎日jp	11月3日
Response	5月31日	西日本新聞	11月9日
carview.co.jp	5月31日	池袋経済新聞	11月18日
asahi.com	5月31日	福岡西部Eまちづくり	12月1日
毎日.jp	6月15日	アドタイ	12月2日
J-CASTモノウォッチ	7月4日	Scoop.it!	12月2日
FRANJA	7月6日	give App de iPhone	12月2日
日経トレンドネット	7月15日	モバイル林檎	12月6日
SJL.jp	7月18日	ファインドスター広告ニュース	12月6日
Grazia	9月1日	シブヤ経済新聞	12月7日
YOMIURI ONLINE	9月2日	ネットベンチャーニュース	12月8日
YOMIURI ONLINE	9月3日	CHUNICHI Web	12月13日
日本ギャップイヤー		AFRICA Business News	12月14日
推進機構協会連載	9月21日	ITmediaニュース	12月14日
YOMIURI ONLINE	9月26日	シネマトウデイ	12月17日
TICネットワーク	10月1日	映画.com	12月17日
YOMIURI ONLINE	10月2日	asahi.com	12月17日
YOMIURI ONLINE	10月13日	SANSPO.COM	12月18日
YOMIURI ONLINE	10月14日	デイリースポーツオンライン	12月18日
japan.internet.com	10月18日	OPENER	12月20日
YOMIURI ONLINE	10月21日	Joinsmsn	12月22日
毎日jp	10月22日	新月Tribune	12月23日
毎日jp	10月24日		
WEB本の雑誌	10月26日		

計47回

# 参加団体一覧

2011年1月から12月までの1年間、以下の企業・団体の食堂・商品にてTFTプログラムを導入いただきました。  
(2011年度以前から継続してご参加いただいている企業も含みます) ※敬称略・ご参加順

## 企業

中央三井信託銀行  
株式会社ファミリーマート  
ポーラ化成工業株式会社  
株式会社ポーラ  
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス  
東京海上日動火災保険株式会社  
株式会社りそなホールディングス  
日本アイ・ピー・エム株式会社  
日立建機株式会社  
株式会社アルバック  
株式会社ホテルオークラ東京ベイ  
伊藤忠商事株式会社  
株式会社毎日新聞社  
近畿大阪銀行  
京都新聞社  
株式会社中村屋  
株式会社野村総合研究所  
積水化学グループ  
アサヒビール株式会社  
株式会社日立製作所  
株式会社デジタル  
三井住友海上火災保険株式会社  
大塚製薬グループ  
マルヤス工業株式会社  
株式会社ハタノ製作所  
大日本スクリーン製造株式会社  
エスエス製薬株式会社  
日本電気株式会社  
三井物産株式会社  
ソニー株式会社  
株式会社ニチレイ  
住友商事株式会社  
HSBCグループ  
株式会社遠鉄百貨店  
西濃運輸株式会社  
日本交通株式会社  
コニン株式会社  
株式会社NTTデータ  
アメリカンファミリー生命保険会社  
株式会社ニチレイフーズ  
住化不動産株式会社  
株式会社トクヤマ  
株式会社高島屋  
GEヘルスケア・ジャパン株式会社  
鹿島建設株式会社  
三井生命保険株式会社  
カバヤ食品株式会社  
信金中央金庫  
株式会社埼玉りそな銀行

東京ガス株式会社  
シャープ株式会社  
ジェコス株式会社  
株式会社ラッシュジャパン  
株式会社日立プラントテクノロジー  
千代田化工建設株式会社  
ポッシュ株式会社  
トア再保険株式会社  
株式会社日立製作所 情報・通信システム社  
全日本空輸株式会社  
株式会社三井住友銀行  
ソニーイーエムシーエス株式会社  
コクヨ株式会社  
株式会社ふくおかフィナンシャルグループ  
株式会社資生堂  
チャーティス・ファースト・  
ホールディングス株式会社  
住友生命保険相互会社  
アイ・ティー・シーネットワーク株式会社  
パナソニック株式会社  
日本放送協会  
春日井製菓株式会社  
岡谷鋼機株式会社  
株式会社愛媛銀行  
パナソニック株式会社  
オートモーティブシステムズ社  
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社  
株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント  
アイシン精機株式会社  
日本電子株式会社  
日本電信電話株式会社  
花王株式会社  
株式会社ベネッセコーポレーション  
味の素株式会社  
株式会社ティーガイア  
株式会社電通  
日本オラクル株式会社  
メルリンチ日本証券株式会社  
株式会社東京放送ホールディングス  
NTTコミュニケーションズ株式会社  
株式会社タケウチ  
住友スリーエム株式会社  
講談社  
株式会社カネカ  
株式会社日本政策投資銀行  
パナソニックエコシステムズ株式会社  
株式会社日立システムズ  
山形スリーエム株式会社  
株式会社ニコン  
第一三共株式会社

オムロン株式会社  
株式会社キッツ  
日本テレビ放送網株式会社  
アライドアーキテクツ株式会社  
NTTコムウェア株式会社  
JSR株式会社  
ロイヤルホールディングス株式会社  
ロイヤル株式会社  
SCSK株式会社  
株式会社百十四銀行  
株式会社日立メディアエレクトロニクス  
TIS株式会社  
オイシックス株式会社  
サンケン電気株式会社  
ソニーセミコンダクタ九州株式会社  
株式会社朝日新聞社  
東京電力株式会社  
日本たばこ産業株式会社  
三菱工業株式会社  
三菱商事株式会社  
ソフトバンクBB株式会社  
株式会社北洋銀行  
パークレイズ・キャピタル証券株式会社  
パナソニック株式会社 AVCネットワークス社  
三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社  
株式会社テレビ東京  
ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社  
株式会社イーテック  
日本ガイシ株式会社  
日本興亜損害保険株式会社  
新日鉄エンジニアリング株式会社  
SMBCフレンド証券株式会社  
オリンパスメディカルシステムズ株式会社  
オリンパス株式会社  
会津オリンパス株式会社  
株式会社ブリヂストン  
株式会社デンソーウェーブ  
株式会社電通国際情報サービス  
NTTソフトウェア株式会社  
丸紅株式会社  
清水建設株式会社  
長瀬産業株式会社  
キューピー株式会社  
株式会社オージス総研  
昭和電工株式会社  
双日総合管理株式会社  
SAPジャパン株式会社  
株式会社損害保険ジャパン  
トッパン・フォームズ株式会社  
株式会社アンカーネットワークサービス

株式会社みずほフィナンシャルグループ  
三菱重工業株式会社  
青森オリンパス株式会社  
千秋オフィスサービス株式会社  
大成建設株式会社  
日本郵船株式会社  
豊田通商株式会社  
帝人株式会社  
野村證券株式会社  
株式会社学研ホールディングス  
ダイダマン株式会社  
株式会社EM生活  
株式会社丸井グループ  
キリンビジネスエキスパート株式会社  
インフォシス・テクノロジーズ  
日本マイクロソフト株式会社  
ヤンマー株式会社  
株式会社美濃忠  
日機装株式会社  
パナソニック電工株式会社  
キリンビール株式会社  
トッパン・フォームズ・サービス株式会社  
パナソニック株式会社 人材開発カンパニー  
株式会社あおぞら銀行  
中部電力株式会社  
トッパン・フォームズ・セントラルプロダクツ株式会社  
三菱地所コミュニティ株式会社  
NTN株式会社  
NTN精密樹脂株式会社  
株式会社NTN金剛製作所  
株式会社NTN三雲製作所  
株式会社オー・ド・ヴィー  
株式会社悠香  
リコーロジスティクス株式会社  
GCAサヴィアングループ株式会社  
トッパン・フォームズ関西株式会社  
村田機械株式会社  
株式会社プロトメディカルケア  
トヨタ自動車株式会社  
株式会社神戸ポートピアホテル  
ブルデンシャル生命保険株式会社  
三菱レイヨン株式会社  
積水樹脂株式会社  
旭硝子株式会社  
グローリー株式会社  
キャタピラー・ジャパン株式会社  
リシュモンジャパン株式会社  
株式会社岡山高島屋  
株式会社岐阜高島屋  
株式会社高崎高島屋

# 参加団体一覧

2011年1月から12月までの1年間、以下の企業・団体の食堂・商品にてTFTプログラムを導入いただきました。  
(2011年度以前から継続してご参加いただいている企業も含まれます) ※敬称略・ご参加順

## 企業(続き)

株式会社村田製作所  
株式会社米子高島屋  
三菱商事石油株式会社  
住友化学株式会社  
日本特殊陶業株式会社  
住友電気工業株式会社  
日商エレクトロニクス株式会社  
一般社団法人共同通信社  
パナソニック株式会社 アプライアンス社  
株式会社日立ソリューションズ  
トヨタ紡織株式会社  
株式会社クリエイティブ・レストラン・ホールディングス  
JFE商事株式会社  
株式会社ジーエス・ユアサコーポレーション

## 学校

大妻女子大学  
花園大学  
京都学園大学  
京都光華女子大学  
京都市立芸術大学  
京都精華大学  
大阪成蹊大学  
京都造形芸術大学  
明治国際医療大学  
京都外国語大学  
聖心インターナショナルスクール  
清泉女学院大学・短期大学  
熊本大学  
学校法人城西大学  
千葉大学  
お茶の水女子大学  
青山学院大学  
筑波大学  
獨協医科大学  
宮崎大学  
大分大学  
西南学院大学  
静岡県立大学  
早稲田大学  
金城学院大学  
滋賀医科大学  
京都大学  
東京外国語大学  
徳島文理大学  
鹿児島大学

九州大学  
学校法人福岡工業大学  
埼玉大学  
佐賀大学  
三重大学  
神奈川大学  
東海大学短期大学部  
大阪大学  
東京工業大学  
明治大学 和泉の社  
学校法人松商学園 松本大学  
法政大学  
慶應義塾大学  
武蔵大学  
国際基督教大学  
立命館アジア太平洋大学  
関西大学  
桜美林大学  
学校法人聖心女子学院 聖心女子大学  
一橋大学  
九州工業大学  
学校法人聖カタリナ学園  
山口県立大学  
西南女学院大学  
長崎大学  
名古屋大学  
大阪府立大学  
東京農業大学  
東洋大学  
九州国際大学  
甲南女子大学 TFT委員会  
阪南大学  
大阪産業大学  
津田塾大学  
富山大学  
立命館大学  
東京農工大学  
北海道武蔵女子短期大学  
東京成徳大学・短期大学  
学校法人資生堂学園  
聖カタリナ女子高等学校  
国立看護大学校  
宇都宮大学  
和歌山大学  
文教大学  
中央大学  
創価大学  
清泉女子大学  
千葉商科大学

福岡教育大学  
共立女子大学  
大阪市立大学  
東京医科歯科大学  
成蹊大学  
日本大学  
神田外語大学  
東京大学  
仙台白百合女子大学  
学校法人安達文化学園  
愛知淑徳大学

## 官公庁・公的機関

参議院  
外務省  
経済産業省  
文部科学省  
財務省  
農林水産省  
相模原市職員厚生会  
文京区役所職員互助会  
国土交通省  
特許庁  
横浜市職員厚生会  
厚生労働省  
大和市  
内閣府  
法務省  
人事院  
茨城県庁生活協同組合  
高山市役所  
衆議院  
国立国会図書館  
大阪市役所  
足立区職員互助会  
日本政策金融公庫  
柏市職員組合  
立川市役所  
品川区職員互助会  
札幌国税局(札幌第2合同庁舎)  
財団法人三重県職員互助会

## 病院

医療法人社団ワイズレディスクリニック  
飯沼病院  
社会医療法人財団白十字会佐世保中央病院  
熊本大学病院  
社会医療法人財団白十字会白十字病院  
社会保険中京病院  
聖路加国際病院  
茨城県立中央病院  
社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院  
社会医療法人財団白十字会耀光リハビリテーション病院  
医療法人永和会  
済生会八幡総合病院

## その他

社団法人埼玉県年金福祉協会  
独立行政法人国際協力機構  
社会福祉法人武蔵野  
独立行政法人宇宙航空研究開発機構  
名古屋住友クラブ  
独立行政法人理化学研究所  
社会福祉法人みその福祉会  
大阪リバーサイドロータリークラブ  
社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会  
全国共済農業協同組合連合会 全国本部  
パナソニックES集合住宅エンジニアリング労働組合  
パナソニック電工リビング首都圏労働組合

他2団体

2011年1月から12月までの1年間、以下の企業・団体の食堂・商品にてTFTプログラムを導入いただきました。  
(2011年度以前から継続してご参加いただいている企業も含まれます) ※敬称略・ご参加順

## 外食店

ポーラ美術館  
陳麻婆豆腐  
東京トンテキ  
旬菜 まんげつ亭  
株式会社梅の花  
株式会社名古屋東急ホテル  
カフェ・カンパニー株式会社  
東京国際ゴルフ倶楽部  
有限会社ピッツェリア  
国際桜ゴルフ倶楽部  
ホテルオークラ札幌  
高松国際ホテル  
株式会社いんでいら  
MiLK café  
らーめんえにし  
東京庵  
Café & Bar O+  
リーガロイヤルホテル東京  
Green gingre café  
有限会社やましち  
café causa  
株式会社命菓  
早稲田大学ユニカフェ125  
スペインバル カサ・デ・マチャ  
うるとらカフェ  
株式会社J  
台北 和食えん  
株式会社クロスカンパニー  
ロイヤルパークホテル高松  
ビッグエコ  
アオテアランギ  
沖縄ダイニングカフェ ティーダ  
インド料理レストラン シャゲン  
パパ・ガンブ・シュリンブ  
カフェアモンド  
パニトイペーグル  
湯の花茶屋 新左衛門の湯  
有限会社colors  
MLB café  
自然食カフェ GRAN  
モワルーズ  
レストランそらまめ  
有限会社國廣  
ファーストステージ株式会社  
株式会社良蔵  
札幌サンブラザ

109シネマズ港北  
国際企業株式会社  
カレッタ汐留  
はいさいキッチン  
株式会社カヤック  
有限会社オープンセサミ  
ロイヤル高松カントリークラブ  
縁さくら  
ミールケアげんきちゃん  
o2カフェ  
キングストングリル  
FUKU+RE CAFÉ  
征月  
FIAT Caffe  
POINT NATURE/ORGANIQUE/CAFE/BAR  
FUSIMI M.C BASE  
A.P.T. lounge  
新和食 到 ~organic&dining~  
LIGHTNING CAFE  
MJダイナー  
東京第一ホテル錦  
永平寺禅どうふの郷 幸家  
10° CAFÉ  
居酒屋あるばか  
相模原コミュニティ RISE CAFÉ  
Osteria Kotoni

## 披露宴

株式会社イヤタカ  
新潟県護国神社 迎賓館 TOKIWA  
株式会社寿  
ホテルグランヒルつたや  
株式会社オー・ド・ヴィー

## 弁当・宅配

かつみ工房  
株式会社東京正直屋  
夢乃膳兵衛  
有限会社E.C.ブランニング  
ファーストステージ株式会社  
株式会社フェイスリット  
株式会社ディナーサービス・コーポレーション  
ネクストキッチン

## 小売・その他

オイシックス株式会社  
有限会社ヴィライブ  
長うら一等米工房  
株式会社ファミリーマート  
日経新聞経堂専売所  
株式会社佐藤商会  
株式会社東京一番フーズ  
有限会社かつば橋まえ田  
株式会社イエロースタジオ  
株式会社JR東日本リテールネット  
(NEWDAYS/ハッピーフクロウ)  
Piece to Peace  
株式会社ダイヤモンドヘッズ  
株式会社スリーエフ  
株式会社パルコ  
楽天株式会社 (楽天レシビ)  
日本興亜スマイルキッズ江戸川橋保育園  
ヴァンクール有限会社 (FUTSAL FOR TWO)

## 食堂運営会社・ベンダー

エームサービス株式会社  
シダックスフードサービス株式会社  
株式会社グリーンハウス  
西洋フード・コンパスグループ株式会社  
株式会社日京クリエイト  
日本給食サービス株式会社  
ユーレストジャパン株式会社  
株式会社魚国総本社  
トヨタ生活協同組合  
東京ジューキ食品株式会社  
株式会社不二家商事  
ジャパンウェルネス株式会社  
ロイヤルコントラクトサービス株式会社  
株式会社LEOC  
株式会社セブン&アイ・フードシステムズ  
株式会社レストラン・モア  
初花  
中央フードサービス株式会社  
株式会社フジランド  
フジ産業株式会社  
株式会社テストティパル  
一富士フードサービス株式会社  
株式会社マックス  
株式会社エル・スエヒロフードサービス  
株式会社NECライブックス  
株式会社宮重コーポレーション  
株式会社中央グリーンハウス  
阪急産業株式会社  
株式会社藤給食センター  
東京ビジネスサービス株式会社  
エームサービス中部日本株式会社  
メフォス株式会社  
株式会社レパスト  
栄食メディックス株式会社  
株式会社サンマーチ  
東京ケータリング株式会社  
あきもと  
新大阪食品産業株式会社  
テルウェル東日本株式会社  
株式会社コスモテック  
グリーンホスピタリティフードサービス株式会社  
株式会社アターブル松屋フードサービス  
株式会社ニッコトラスト  
かをり商事株式会社  
栄養食株式会社  
株式会社タカシン  
株式会社安田物産  
有限会社和

## 参加団体一覧

2011年1月から12月までの1年間、以下の企業・団体の食堂・商品にてTFTプログラムを導入いただきました。  
(2011年度以前から継続してご参加いただいている企業も含まれます) ※敬称略・ご参加順

### 食堂運営会社・ベンダー(続き)

熊本大学生生活協同組合  
財団法人学校福祉協会  
株式会社アール・ティ・コーポレーション  
株式会社レクトン  
銀座スエヒロカフェテリアサービス株式会社  
財団法人恵和会  
株式会社東岡山給食センター  
小田急リゾート  
日本ゼネラルフード株式会社  
株式会社南テスティバル  
ウオクニ株式会社  
株式会社久仁加食品  
丸の内ポールスター  
大一食品株式会社  
株式会社ジューディーフードサービス  
ジャパンコントラクトフード株式会社  
千葉大学生生活協同組合  
茨城県庁生活協同組合  
アサヒカルピスビバレッジ株式会社  
お茶の水女子大学消費生活協同組合  
株式会社アイビー・シーエス  
中村学園事業部  
有限会社岡崎  
有限会社満潮  
ニュー第一食堂株式会社  
レストラン霞ガーデン  
千曲食品株式会社  
有限会社山王富士  
東武食品サービス株式会社  
株式会社八洋  
財団法人日本放送協会共済会  
株式会社ポピンズ コーポレーション  
株式会社クロス・サービス  
大分大学生生活協同組合  
株式会社ジャパンビバレッジ東京  
西南学院大学生生活協同組合  
ニラックス株式会社  
早稲田大学生生活協同組合  
イオンリテール株式会社  
すしたけ(陽だまり)  
ぴあらいぶ仙台  
金城学院大学生生活協同組合  
滋賀医科大学生活協同組合  
株式会社東臣  
京都大学生生活協同組合  
株式会社中部グリーンハウス  
平田産業株式会社

株式会社東栄  
きみどりキッチン  
宮崎大学生生活協同組合  
東京外国語大学生生活協同組合  
有限会社レストラン栃の葉  
株式会社中央  
株式会社アペックス  
株式会社伊藤園  
東京コカ・コーラボトリング株式会社  
ベーカリー風月  
株式会社日本レストランエンタプライズ  
鹿児島大学生生活協同組合  
九州大学生生活協同組合  
株式会社リベラルテーブル  
リーガロイヤルホテル東京  
埼玉大学生生活協同組合  
イトランド株式会社  
愛媛大学生生活協同組合  
株式会社いと多  
佐賀大学生生活協同組合  
東京割烹株式会社  
トーヨーベンディング株式会社  
株式会社デューク・コーポレーション  
株式会社レストラン・ピガール  
株式会社レストランさくら  
株式会社馬淵商事  
麒麟ビバレッジ株式会社  
三重大学生生活協同組合  
神奈川大学生生活協同組合  
四国キャンティーン株式会社  
財団法人電気通信共済会  
大阪大学生生活協同組合  
アーバンベンディックスネットワーク株式会社  
株式会社ダイケングループ  
株式会社札幌給食センター  
中部ベプシコーラ販売株式会社  
東京工業大学生生活協同組合  
利根コカ・コーラボトリング株式会社  
エムサービス関東株式会社  
ロイヤル株式会社  
大学生協連 東京事業連合  
法政大学生生活協同組合  
慶應義塾生活協同組合  
武蔵学園生活協同組合  
常磐興業株式会社  
コンパス九州株式会社  
株式会社ニッコトラスト西日本  
株式会社朝日食堂  
株式会社萬惣食品

三國フーズ株式会社  
株式会社ニユートーキョー  
株式会社ジェイティククリエイティブサービス  
うおまん 中之島店  
EX-サービス株式会社  
株式会社若しば企画サービス  
エコライフ株式会社  
株式会社どうきゆう  
株式会社ベヌーゴケータリング  
株式会社奥原商事  
丸玉フーズ株式会社  
立命館アジア太平洋大学生生活協同組合  
関西大学生生活協同組合  
NOC日本アウトソーシング株式会社  
ネオス株式会社  
ブリヂストンビジネスサービス株式会社  
株式会社ASSホールディングス  
太陽フーズ株式会社  
一橋大学消費生活協同組合  
九州工業大学生生活協同組合  
コカ・コーラウエスト株式会社  
株式会社馬車道  
テルウェル西日本株式会社  
西南女学院大学生生活協同組合  
長崎大学生生活協同組合  
名古屋大学消費生活協同組合  
有限会社ホーユー  
大阪府立大学生生活協同組合  
株式会社メーキュー  
東京農業大学生生活協同組合  
有限会社食養生  
DSフードサービス株式会社  
株式会社ぐりーん企画  
有限会社壺屋  
甲南女子大学生生活協同組合  
阪南大学生生活協同組合  
西部給食株式会社  
Cafe Repos  
株式会社OSAプランニング  
葉隠勇進株式会社  
富山大学生生活協同組合  
立命館生活協同組合  
東京農工大学消費生活協同組合  
株式会社ジャパンビバレッジイースト  
東洋食品株式会社  
名阪食品株式会社  
株式会社門松  
サントリーフーズ株式会社  
株式会社共栄ベンディング

埼玉西ヤクルト販売株式会社  
三國コカ・コーラボトリング株式会社  
新三商事株式会社  
株式会社昭和イーティング  
日清医療食品株式会社  
有限会社東村山給食センター  
宇都宮大学消費生活協同組合  
和歌山大学消費生活協同組合  
日本ベプシコーラ販売株式会社  
株式会社ユカ  
千葉商科大学生活協同組合  
福岡教育大学生生活協同組合  
株式会社日産給食  
ワオ株式会社  
株式会社味の素コミュニケーションズ  
大阪市立大学生生活協同組合  
有限会社姫路給食  
ハーベスト株式会社  
株式会社日米クック  
株式会社ムラタ栄興  
常磐食品株式会社  
シダックス株式会社  
東京医科歯科大学生活協同組合  
株式会社ロイヤルシェフ  
TBコーポレートサービス株式会社  
東京大学消費生活協同組合  
大学生生活協同組合みやぎインターカレッジコープ  
株式会社トヨタエンタプライズ  
株式会社グラノ24K  
株式会社寿食品  
川文産業株式会社  
明治学院消費生活協同組合



## 2012年から参加中の団体

2012年1月以降も、多くの企業・団体でTFTプログラムを導入いただいています。  
※敬称略・ご参加順（2012年4月10日時点）

### 企業

SMBC日興証券株式会社  
三井住友カード株式会社  
財団法人京都市職員厚生会  
ゴールドマン・サックス  
東京エレクトロン株式会社  
KDDI株式会社  
株式会社ファーストリテイリング  
学校法人片柳学園  
株式会社ワコール  
NTTエレクトロニクス株式会社  
TOTO株式会社

### 学校

三輪田学園中学校・高等学校  
中京大学  
学校法人近畿大学  
明治学院大学  
横浜国立大学

### 病院

社会医療法人河北医療財団  
大和市立病院  
国立国際医療センター

### 外食

株式会社アクロスリング  
アジアンタ  
有限会社西村ミート西村家

### お弁当・宅配

お弁当 こう月  
ブルームデザイン

### 食堂運営会社・ベンダー

株式会社オーシャンシステム  
株式会社スペースサービス  
MIDファシリティマネジメント株式会社  
中京大学生生活協同組合  
株式会社ジャパンビバレッジウエスト  
有限会社サン・フードサービス  
ナンプフードサービス株式会社  
淀川食品株式会社  
近畿大学生生活協同組合  
横浜国立大学生生活協同組合



2011年1月1日－12月31日 (単位:千円)

(1) 収入		129,208
1. 給食事業寄付金	115,973	開発途上国、被災地の食料のための寄付金
2. 給食室事業寄付金	1,810	開発途上国の給食室のための寄付金
3. 菜園事業寄付金	78	開発途上国の菜園のための寄付金
4. 菜園事業助成金	190	日本での菜園設置のための助成金 ((2)4の支出額に加え、2010年に支払った設置費用に対する助成金)
5. 啓発事業	3,009	講演料、イベント参加費等
6. 運営寄付金	7,794	
7. 会費・入会金	250	
8. その他	104	

(2) 支出		116,532
1. 給食事業寄付金	92,407	開発途上国、被災地の食料に対する寄付金
2. 給食室事業寄付金	1,448	開発途上国の給食室に対する寄付金
3. 菜園事業寄付金	62	開発途上国の菜園に対する寄付金
4. 菜園設置関連費用	50	日本での菜園設置に関連する費用
5. 啓発事業経費	1,308	イベント開催費(会場費他)等
6. 人件費・外注費	15,763	人件費(常勤3名、非常勤3名)、外部への業務委託費(報告レポート印刷、税理士相談料等)
7. 事務所管理費	3,460	家賃、光熱水費、通信費、リース料等
8. 活動費	1,458	旅費交通費、会議費等
9. その他	576	租税公課、振込手数料等

当期収支差額	12,676
--------	--------

次期繰越収支差額	20,589
----------	--------

第5期にあたる今期(2011年度)は、主幹事業である食堂プログラムに加え、自動販売機を通じた給食支援や、コンビニエンスストアでのキャンペーンに注力いたしました。

さらに、ご家庭でもご参加いただける「TABLE FOR TWO at HOME」をスタートさせ、寄付つき調理器具やレシピサイトとの提携、食事管理ができるiPhoneアプリの開発など、活動の幅をこれまで以上に広げることができました。

開発途上国への支援活動につきましても、給食支援に加えて給食室建設や菜園運営への支援と、学校給食事業の運営を様々な形で支えることができました。また、3月11日に起きた東日本大震災をうけ、被災地への食料支援も実施いたしました。

収入におきましては、食堂プログラムやキャンペーン、TABLE FOR TWO at HOME等を通じた給食事業収入が115,973千円と、前年度の約1.5倍の数字を計上いたしました。全体収入も、前年度の約1.5倍にあたる129,208千円となりました。結果、今年度単年では、運営費・管理費116,532千円を差し引き12,676千円の黒字収支となりました。前年度からの繰越とあわせ、20,589千円の累積黒字となりました。

支出におきましては、開発途上国ならびに東日本大震災 被災地の食料への寄付金として92,407千円、開発途上国の給食室建設への寄付金として1,448千円、学校菜園への支援として62千円、また助成金による菜園設置費用として50千円、啓発事業費として1,308千円を計上いたしました。

事務局運営のための各費用につきましては、フルタイムの職員を2名から3名に増員いたしました結果、人件費・外注費、事務所管理費、活動費、その他費用の合計で前年度の1.3倍にあたる21,257千円を計上いたしました。主たる給食事業においては、115,973千円の収入に対して、92,407千円の寄付を実施し、収入の20%に当たる23,195千円を運営管理費に充当させていただきました。なお、給食事業寄付金収入の80%にあたる92,778千円と実際の寄付額92,407千円の差額にあたる371千円につきましては、前年度に給食事業寄付金収入の誤計上があったため、今年度に仕訳の修正を行った結果生じたものです。

来期(2012年度)は、主たる事業である食堂プログラムやキャンペーン等の拡充はもちろんのこと、さらに多くの方にTFTにご参加いただける機会を増やすべく、TABLE FOR TWO at HOMEの展開拡大に向けて邁進いたします。また、開発途上国の方でも、学校給食を中心により広い形での食料支援活動を展開してまいります。



## 体概要

【組織】 ※2011年3月末現在

団体正式名称	特定非営利活動法人TABLE FOR TWO International
設立	2007年10月24日
種別	租税特別措置法第六十六条の十一の二第三項に規定する認定NPO法人（2010.1.16認定）
ホームページ	<a href="http://www.tablefor2.org/">http://www.tablefor2.org/</a>
お問い合わせ	<a href="mailto:info@tablefor2.org">info@tablefor2.org</a>
代表理事	小暮 真久
理事	浅尾 慶一郎 - 衆議院議員 北神 圭朗 - 衆議院議員 世耕 弘成 - 参議院議員 高島 宏平 - オイシックス株式会社代表取締役社長 藤沢 久美 - シンクタンク・ソフィアバンク副代表 松田 公太 - 参議院議員
監事	渡辺 伸行 - TMI総合法律事務所 弁護士
事務局長	安東 迪子
決算期	12月31日

【活動内容】 先進国でのヘルシーメニュー提供や啓蒙活動等のプログラム実施によって得た寄付を通じての開発途上国への学校給食支援を中核に、開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む、日本発の社会貢献運動

【支援国】 ウガンダ共和国、エチオピア連邦民主共和国、ケニア共和国、タンザニア連合共和国、マラウイ共和国、ルワンダ共和国、南アフリカ共和国

【給食実績】 1,257万8,612食（累計・2011年12月末日）

【実施団体数】 462社・団体（日本国内・2011年12月末日）

- 【実施形態】
1. 社員食堂プログラム
  2. 外食産業・食品小売実店舗プログラム
  3. 喫茶・ドリンクメニュープログラム
  4. その他食品関連プログラム（食品通販、挙式披露宴メニュー、仕出し、ケータリング）
  5. 食の不均衡改善啓発プログラム



When you dine at TABLE FOR TWO, you never dine alone.

発行日：2012年4月

編集：笹本 愛子、吉田 隼和、大澤 志織、赤澤 祐美、安東 迪子、小林 智子